

特別講演

曖昧な態度の測定から新しい統計指標の開発 そして音楽心理学まで

ファジィ理論との出会い、また、応用研究の経過を説明する。

人間の態度には、曖昧さが多い。例えば、何かを好きか嫌いかわかなくても、中間的な態度もありうるし、好きだが嫌い、という、両面価値的な状況もある。そこで、良いと悪い、YesとNoなど、対極的な概念をそれぞれ別の測定尺度にして測定する方法を提案した。

さらに、測定結果の処理、また、矛盾した心理に関する数学的モデルの開発、また、そのモデルを適用して開発した、平均値や標準偏差の替わりになる新しい統計指標を紹介する。

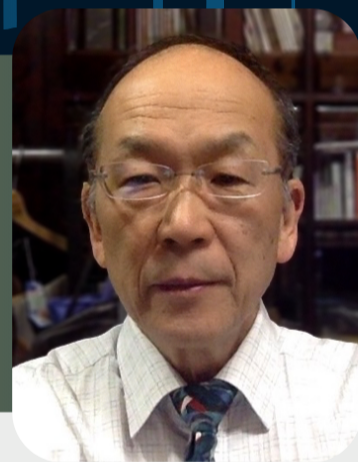
講演の後半では、最近の具体的な応用を1つ紹介する。特定の音楽レコードのある箇所で、オーケストラの音が、鐘のような音に聞こえる現象が昔から知られていたが、筆者は、鐘に聞こえる人とそうでない人がいることを見出したので、その現象の測定に、上記の測定技法を適用してみた。このような曖昧現象の解明に有効であると示す努力を、何人もの研究者の協力を得て続けている。

講演者

愛知工業大学 名誉教授

日本経営システム学会 名誉会員

小田 哲久 先生



2025年
6月16日
17:00 - 18:10

参加費無料

お申込みはこちら

2025年 6月13日 (金) まで



愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス 本館201教室

お問い合わせ

経営システム学会 中部支部

MAIL k-fukuzawa@aitech.ac.jp

WEB www.jams-web.jp/information/